

東京工業大学混声合唱団  
コール・クライネス  
第56回演奏会

Songs

オラトリオ「天地創造」

Haydn, J. 作曲 指揮：大谷 研二

ガブリエル・エヴァ：櫻井愛子(ソプラノ)

ウリエル：谷口洋介(テノール)

ラファエル・アダム：松平敬(バス)

チェンバロ：能登 伊津子 オーケストラ：横浜シンフォニエッタ

曲集「ラムラー叙情詩集」より

(Hob.XXVb:1~4 及び Hob.XXVc:1~9 より抜粋)

Haydn, J. 作曲 指揮：佐藤 環 ピアノ：山部 陽子

2022 1.14 日曜日 開場 17:15 開演 18:15

ミューザ川崎シンフォニーホール  
JR川崎駅中央西口より徒歩約3分 | 京急川崎駅より徒歩約9分

映像 ¥500  
前売り ¥1200

詳細はこちらから ▶▶▶



お問い合わせ | 080-5431-8388 | concert@chorkleines.com | <https://www.chorkleines.com/>



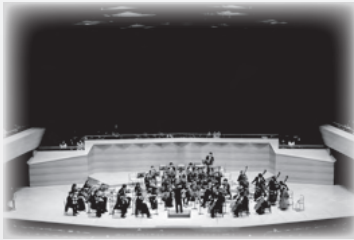
# Performers

演奏者紹介



## 東京工業大学混声合唱団コール・クライネス

昭和38年10月に誕生。東京工業大学、清泉女子大学、日本女子大学、フェリス学院大学の学生を中心に複数の大学の学生で構成される。団員数100名以上の大学合唱団。創団当初は小さい合唱団(独:Chor Kleines)だったものの、今では団員数が100人を超えるまでに成長を遂げた。常任指揮者の大谷研二先生、副指揮者の岩本達明先生、専任ピアニストの山部陽子先生、ボイストレーナーの松平敬先生、坂本かおる先生の指導のもと、学生主体で合唱に取り組んでいる。近年では朝日新聞社・全日本合唱連盟主催の全日本合唱コンクールにて17年連続金賞を受賞したこともある。



## 横浜シンフォニエッタ

1998年TOMATOフィルハーモニー管弦楽団として東京藝術大学学内にて創立。後に横浜シンフォニエッタへと改称、音楽監督に山田和樹を擁し、横浜に活動拠点を置くオーケストラとして国内外で演奏活動を展開している。2013年フランス・ナントのラ・フォル・ジュルネ音楽祭へ日本の楽団として初めて招聘され、2015年韓国、2017年および2019年ロシアと海外の著名な音楽祭にて公演を重ねる。CDリリースも多数、題名のない音楽会等に出演し、世界の最先端を行くイノベーション・オーケストラとして注目を集める。2013年にはその功績を高く評価され横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。



### 大谷 研二 指揮者

1980年武蔵野音楽大学声楽科卒業。1983年ヨーロッパに留学。E. エリクソン、H. リリング、w. シェーファーに師事。フランクフルト音楽大学合唱指揮科を卒業、ディプロマを取得し、1989年帰国。1990年東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスに迎えられる。現在、NHK 東京児童合唱団常任指揮者・音楽顧問、東京混声合唱団指揮者、活水女子大学音楽学部客員教授、エリザベト音楽大学特別講師。中世から現代に至る色彩豊かな作品の紹介と流麗な指揮によって高い評価を受けている日本を代表する合唱指揮者の一人である。



### 山部 陽子 ピアニスト

神奈川県立音楽堂主催推薦音楽会出演。第2回日本クラシック音楽コンクール優秀賞受賞。多数のオーケストラとピアノコンチェルトで共演。2000年よりワルシャワフィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターと室内楽を組み、国際音楽祭にも度々招聘される。その他、合唱団との共演も多く、アンサンブルピアニストとして活躍している。大垣市における「青少年のための NHK 合唱コンクール課題曲演奏会」には毎年出演している。



### 松平 敬 バス

東京芸術大学卒業、同大学院修了。湯浅譲二、西村朗など150作以上の新作を初演。サントリーホール・サマーフェスティバル、国立劇場などに出演。ソロCDとしてこれまで、『MONO-POLL』(文化庁芸術祭優秀賞)ほか3枚のアルバムを発表。チューバの橋本晋哉氏とのユニット「低音デュオ」名義としても2枚のCDを発表。2019年には著書『シュトックハウゼンのすべて』を出版(第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞受賞)。

写真: ©Lasp Inc.



### 谷口 洋介 テノール

神奈川県横浜市出身。1998年よりバッハ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の演奏会やCD録音に参加している。バロックから古典派のレパートリーを中心に活躍中、その歌唱力や表現力は高い評価を得ている。また、日本歌曲やポピュラーソングのカバー等、クラシックの枠にとらわれない幅広いジャンルで演奏活動を行い、その活躍も期待されている。声楽アンサンブル『ラ・フォンテヴェルデ』のメンバー。



### 櫻井 愛子 ソプラノ

歌曲及び宗教曲のスペシャリストを目指して研鑽を積んでいる、新進気鋭のソプラノ。2021年3月新日本フィルハーモニー交響楽団と《エグモント》で共演し好評を得る。2019年度リヒャルト・シュトラウス国際コンクール第2位(1位なし、日本人初)、第26回ブラームス国際コンクール声楽部門第2位を受賞しドイツ歌曲において特に国際的な評価を得ている。東京藝術大学大学院声楽専攻及びウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科修士課程修了。



### 能登 伊津子 チェンバロ

桐朋学園大学ピアノ科、グレゴリオ音楽院オルガン本科、専攻科卒業。1994年イタリア、1998年スペインのセミナーにて学ぶ。オルガン、チェンバロ奏者として、多くの演奏会に出演。CD「メディオ・レジストロ」「スパニッシュ・プログレッシヴ・バロック(レコ芸準特選)」をリリース。「メディオ・レジストロ」メンバー。

## 会場へのアクセス

ミュゼザ川崎シンフォニーホール

JR川崎駅中央西口より徒歩約3分 | 京急川崎駅より徒歩約9分

## お問い合わせ

TEL: 080-5431-8388(藤田)  
Mail: concert@chorkleines.com  
HP: <https://www.chorkleines.com/>

